

## 産業廃棄物処理計画書

2024 年 6 月 10 日

新潟市長様

提出者

住所 新潟市中央区川岸町1丁目39番地の5

氏名 一般社団法人 新潟県労働衛生医学協会 会長 佐藤幸示

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 025-267-1200

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	岩室リハビリテーション病院
事業場の所在地	新潟市西蒲区岩室温泉772-1
計画期間	2024 年 4 月 1 日 から 2025 年 3 月 31 日 まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	医療業
② 事業の規模	病院95床、介護医療院95床
③ 従業員数	239人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>○感染性廃棄物</p> <p>① 各部署にて分別して、一時保管。</p> <p>② 屋外の感染性廃棄物保管場所に移動して、保管。</p> <p>③ 収集運搬業者が回収し、中間処理業者にて高圧滅菌処理して、最終処分業者へ。</p> <p>④ 最終処分業者にて、熔融処理。</p>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

- 感染性廃棄物管理委員会  
委員長(院長)、副委員長(医師)、事務長、看護部長、看護師長  
次の所属代表(通所リハ、薬剤科、栄養管理科、リハビリ部、検査科、訪問看護)
- 産業廃棄物責任者(病棟師長)
- 委員会活動
  - ・感染性廃棄物処理計画について
  - ・感染性廃棄物処理状況
  - ・マニフェストの確認
  - ・その他

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度 ( 2023 年度 ) 実績】																					
① 現状	産業廃棄物の種類	感染性廃棄物																			
	排出量	62.37	t		t		t		t		t		t		t		t		t		t
	産業廃棄物の種類																				
	排出量		t		t		t		t		t		t		t		t		t		t
(これまでに実施した取組)																					
【目標】																					
② 計画	産業廃棄物の種類	感染性廃棄物																			
	排出量	49.00	t		t		t		t		t		t		t		t		t		t
	産業廃棄物の種類																				
	排出量		t		t		t		t		t		t		t		t		t		t
(今後実施する予定の計画)																					
<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員への廃棄物削減への意識</li> <li>○排出量の通知による意識向上</li> <li>○感染性廃棄物とそれ以外の分別の徹底</li> </ul>																					

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	1. 特別管理産業廃棄物(感染性廃棄物)として、以下がある。 ○注射器、ガーゼ、包帯、血液、ガラス器具(液状又は泥状物(血液・組織・器官等)、固形状物(血液付着ガーゼや注射筒等)、鋭利物(注射針・ス等)などポリ容器で排出  2. 分別に関する取組 ○感染性廃棄物のそれ以外の分別の徹底	
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	1. 特別管理産業廃棄物(感染性廃棄物)として、以下がある。 ○注射器、ガーゼ、包帯、血液、ガラス器具(液状又は泥状物(血液・組織・器官等)、固形状物(血液付着ガーゼや注射筒等)、鋭利物(注射針・ス等)などポリ容器で排出  2. 分別に関する取組 ○感染性廃棄物のそれ以外の分別の徹底	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度 (年度) 実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	感染性廃棄物							
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
再生利用が困難な為、有りません									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	感染性廃棄物							
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
再生利用が困難な為、有りません									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度 (年度) 実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	感染性廃棄物							
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
実施は有りません。									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	感染性廃棄物							
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
実施予定は有りません。									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度 ( 年度 ) 実績】										
① 現状	産業廃棄物の種類	感染性廃棄物								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類									
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)										
実施は有りません。										

【目標】										
② 計画	産業廃棄物の種類	感染性廃棄物								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類									
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)										
実施予定は有りません。										

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度 ( 2023 年度 ) 実績】										
① 現状	産業廃棄物の種類	感染性廃棄物								
	全処理委託量	62.37	t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	62.37	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類									
	全処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)										
<ul style="list-style-type: none"> <li>○契約する委託業者の許可証の有効期限などの確認</li> <li>○契約内容の定期的な連絡・確認</li> </ul>										

【目標】											
① 計画	産業廃棄物の種類	感染性廃棄物									
	全処理委託量	49.00	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	49.00	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類										
	全処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組)											
<ul style="list-style-type: none"><li>○排出に関する情報交換</li><li>○契約する委託業者の許可証の有効期限などの確認</li><li>○契約内容の定期的な連絡・確認</li></ul>											
※事務処理欄											

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



**産業廃棄物処理計画書（集計用シート）**

<b>提出者の名称</b>	一般社団法人 新潟県労働衛生医学協会 会長 佐藤幸示	<b>提出者の住所</b>	新潟市中央区川岸町1丁目39番地の5
<b>事業場の名称</b>	岩室リハビリテーション病院	<b>事業場の所在地</b>	新潟市西蒲区岩室温泉772-1
<b>内容年度</b>	<b>年度</b>		

（単位：トン）

廃棄物の種類	現状／計画	排出量 A	自社内での処理状況				委託先での処理状況				
			自己再生 利用量 B	うち熱 回収量 C	自己中間 処理 減量化量 D	自己最終 処分量 E	全処理 委託量 F	委託処理量のうち委託先毎の量			
								優良認定 処理業者 への処理 委託量 G	再生利用 業者への 処理 委託量 H	熱回収 認定業者 への処理 委託量 I	熱回収 認定業者 以外の熱 回収を行 う業者へ の処理 委託量 J
感染性廃棄物	現状	62.37					62.37	62.37			
	計画	49.00					49.00	49.00			
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
合 計	現状	62.37					62.37	62.37			
	計画	49.00					49.00	49.00			